



平成 25 年 8 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社ジーンテクノサイエンス  
代 表 者 名 代表取締役社長 河 南 雅 成  
(コード番号：4584 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取締役 CFO 三 ツ 木 勝 俊  
(TEL. 03-3517-1353)

平成 25 年度「個別化医療に向けた次世代医薬品創出基盤技術開発  
(国際基準に適合した次世代抗体医薬等の製造技術)」採択のお知らせ

経済産業省が公募した平成 25 年度「個別化医療に向けた次世代医薬品創出基盤技術開発 (国際基準に適合した次世代抗体医薬等の製造技術)」において、当社の申請事業が採択されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当社は本事業を通じて、今後の個別化医療に対応した基盤整備の実現を目指してまいります。

記

【事業名】

「低コスト及び低副作用を目指す核酸医薬品－抗体コンジュゲート (NAC)、及びペプチド性細胞毒性化合物－抗体コンジュゲート (PAC) バイオベターの生産技術の開発」

【事業の目的】

既存の抗体医薬品を癌組織標的分子として利用し、核酸医薬品－抗体コンジュゲート (Nucleic acid-antibody conjugate) 及びペプチド性細胞毒性化合物－抗体コンジュゲート (Peptide-antibody conjugate) の新規抗癌剤を創製し、その生産技術及び活性・安定性評価系を開発する。

本件は、近年世界中の製薬企業が注目している疾患部位特異的に薬剤をデリバリーすることを可能とするアクティブターゲティングシステムの基盤技術について研究を行うものであります。

本事業の採択により、補助金収入が見込まれるため、バイオ新薬事業における研究業務を大幅に拡充することが可能となりました。本件が当社の平成 26 年 3 月期の業績予想に与える影響は軽微となる見込みであります。本件により基盤技術の拡充活動を加速することができるものと考えております。

なお、上記補助金収入の金額は現時点では確定しておりませんので、確定次第お知らせいたします。

当社は、伊藤忠ケミカルフロンティア(株)との資本業務提携等によりバイオ後続品の早期上市を目指すとともに、扶桑薬品工業(株)との共同研究や本件などのバイオ新薬開発にも注力し、新たな医薬品シーズの開発を行ってまいります。

以 上